

デマンド型タクシーを活用した高齢者に優しい地域公共交通体制の構築

【地域課題】過疎化と高齢化の進む集落群と買い物・福祉医療等の拠点地域を効果的につなぐ方法<鶴岡市>
大東文化大学社会学部・阿部ゼミ・地域公共交通チーム

地域住民が自らの地域公共交通の問題に対して、「デマンド型タクシー」を導入し、地域の高齢者が気兼ねなく、安心して、買い物や通院に行ける街にする。

●提案① 長沼・地区八栄島地区・におけるデマンド型タクシーによる地域公共交通の導入

【利用促進に向けたアイデア】

- 運行の委託は、一般乗合旅客自動車運送事業の許可が有する「庄交ハイヤー」に依頼。
- 「長沼・八栄島地区・地域公共交通住民意識調査」から導いた走行ルートの提案
- 「長沼・地区八栄島地区・地域公共交通モニターテスト」による走行ルートの修正および時刻の再設定
- 生活圏であるが近隣の三川町や庄内町への対策 ⇒規制緩和を行い、鶴岡市外への乗り入れ利用の拡大



●提案② デマンド型タクシー導入後における利用促進の取り組み

【利用促進に向けたアイデア】

- 周知・広報活動【パンフレット・チラシ・メディア】利用促進の取り組み【住民説明会と体験乗車会などの開催】
- 免許返納割引や利用距離・回数に応じたポイント制の特典と高齢者の方が利用しやすい「アプリ」開発
- 「人と交流できる場」や「外に出ることが楽しいといった」の実感。
- 大東文化大社会学部・阿部ゼミによるアフターフォロー ⇒利用者状況調査による改善提案

●提案③ 空き店舗を活用した地域住民の拠点化とチャレンジショップの運営

【利用促進に向けたアイデア】<昨年提案したが、新型コロナウイルスの影響により現在、中止となっている>

- 一昨年閉店した「ふじしまふれあいセンター」をデマンド型タクシーの乗降地の1つとして、新たに拠点づくりとする。

●提案④ 新型コロナウイルス感染症による地域と大学との新たな交流活動のあり方

- 対面授業および学生の対外活動の再開と、委縮している大学を応援する企業との連携やサポート